



# 学校だより

令和6年10月31日

No. 8 11月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

## 感動をつなぐ

校長 小澤 孝之

10月26日(土)に本校運動会「西リンピック」が開催されました。10月に入っても暑い日々が続いていましたが、当日は、雨が降ることもなく、体を動かすにはちょうど良い気温になりました。前日まで天気予報が時間ごとに変わり、心配をしていましたが、無事に開催することができました。

今年度はより良い内容を目指し、いくつか改善した内容がありました。「応援団の編成・応援合戦の実施」「高学年リレーの実施」です。また、プログラムの増加に伴い「開会式の前日実施」も行いました。

応援団は、児童の希望をもとに編成し、中休みや昼休みに熱心に練習に取り組む姿が見られました。当日は、2人の応援団長を中心に応援し、運動会を盛り上げていました。また、高学年リレーについても各学年の代表児童によるチーム編成をもとに、熱心に練習に取り組んでいました。当日は、スムーズにバトンパスを行い、順位を上げようと頑張っていました。また、各学年の演技や競技・徒競走も子どもたち一人ひとりが一生懸命に取り組む姿が見られました。閉会式で私は子どもたちへの話として、「感動」という話をしました。一生懸命に取り組む姿に感動を覚えました。それは、練習の段階から様々な課題を乗り越え、努力の成果を発揮している姿も重ね合わせて感じる感情だと思います。ご家庭でも練習段階から様々な話を子どもたちからお聞きになり、あの素晴らしい演技や競技に重なったのではないのでしょうか。それらが「感動する」ということにつながったのであれば、勝ち負けだけではないものを多くの方と共有することができたのではないかと思います。

プログラムの最後には、5、6年生によるソーラン節が披露されました。50周年の記念にそろえた法被を身にまとい、力強い演技を見せてくれました。ソーラン節は6年生から5年生へ代々引き継がれてきたものです。そして、演技の最後には、多くの拍手をいただきました。子どもたちにとって、何よりのプレゼントだったと思います。あの演技と多くの拍手は次の学年のあこがれとなり、引き継がれていくこととなります。子どもたちとともにおいていただいた皆様と、また、次の伝統をつくることができたことがうれしく思います。これまで子どもたちへの応援、励ましをありがとうございました。これからも子どもたちへの温かな応援をどうぞ、よろしく願いいたします。11月1日まで保護者の方にはアンケートをお願いしています。ぜひ、忌憚ないご意見をいただければと思います。

最後になりますが、閉会式の終わりの言葉を話した6年児童の言葉を忘れることができません。今の6年生は、2年生から新型コロナによる行事等の制限を受け、思うように学校生活を送ることができませんでした。1年生の頃の運動会を胸に取り組み、実施できたこと、それにかかわる多くの方への感謝の気持ちについて自信をもって話していました。とても素晴らしい話でした。私たちも子どもたちの気持ちを大切にしながら、これからも取り組んでいきたいと思っています。